

病害虫情報 No.8

イネツトムシの発生に注意してください！

作物名：水稲（飼料用稲を含む）

病害虫名：イネツトムシ（イチモンジセセリ幼虫）

[現在の状況]

- 7月上旬現在、イネツトムシの発生が平年より多く、発生地点率は平年より高い(表1)。
- 第1世代幼虫の発生量が多いことから、7月下旬頃から発生する第2世代幼虫の発生量は平年より多いと予想される。

表1 イネツトムシ第1世代幼虫の発生状況(7月上旬調査)

地域	ツトム数/25株				発生地点率(%)		
	本年	順位	前年	平年	本年	前年	平年
県北	0.5	1/11	0.1	0.1	18	7	8
鹿行	0.0	1-11/11	0.0	0.0	0	0	9
県南	0.3	2/11	0.1	0.1	26	5	10
県西	1.3	1/11	0.4	0.2	50	42	17
全県	0.5	1/10	0.1	0.1	25	20	10

順位は本年を含む過去年数中の順位

[防除対策]

- 周辺に比べて田植えが遅い、窒素が多い等の理由で葉色が濃い水田では、産卵が特に集中するので、発生に特に注意する。飼料用稲はこれらの条件にあてはまるため、発生には注意が必要である。
- 被害が大きくなる第2世代幼虫の発生は7月下旬からと考えられるので、7月末～8月初めに水田を観察し、発生が多い場合には、幼虫が小さいうち(葉先が巻かれ始めた時期)に薬剤防除を実施する(表2参照)。
- 上位葉が食害されると収量・品質の低下を招く。また、葉をつづり合わせてツトム(巢)をつくり、出穂を妨げることがあるので、防除は遅れないようにする。

表2 稲のイネツトムシの主な防除薬剤(平成21年7月8日現在)

防除対象作物	薬剤名	施用量または 希釈倍数	収穫前日数- 剤の使用回数	有効成分名	有効成分の 総使用回数
水稲 飼料用稲	パダン粒剤4	3~4kg/10a	30-6	カルタップ [®]	6
	パダンSG水溶剤	1,500倍	21-6	カルタップ [®]	6
	ディブテレックス乳剤	1,000倍	14-4	DEP	4
	ディブテレックス粉剤DL	4kg/10a	14-4	DEP	4
	MR・ジョーカー粉剤DL	4kg/10a	7-2	シラフルオフェン	2

但し、種もみ浸漬は1回以内、床土への混和、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内
飼料用稲については、稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルを参照して下さい。

農薬の使用にあたっては、農薬ラベルに記載の使用方法・回数・注意事項等を確認のうえ使用して下さい。また、薬剤散布の際は、周辺作物への飛散(ドリフト)に十分注意して下さい。

病害虫防除所ホームページ(病害虫資料室)に発生生態等の情報を掲載しています。
ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>